

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム  
平成 30 年度第九回企画運営委員会議事概要

【日時】 2019 年 2 月 28 日（木）12 時 00 分から 12 時 40 分

【場所】 情報科学 C 棟 401 室

【出席（敬称略）】 清水（委員長・情）、尾上（情）、原（情）、増澤（情）  
谷田（情）、松下（情）、難波（生）、細田一（情）、中野（生）、EUM（情）  
楊（情）、マハズーン（基）

【遠隔参加】 なし

【事務局】 森川（情/事務長）、鐘ヶ江（情/大学院係長）、谷川（情/部門事務）  
井汲（情/部門事務）、嘉村（情/部門事務）、上田（情/部門事務）

【欠席（敬称略）】 村田（情）、井上（情）、藤原（情）、若宮（情）、石黒（基）、細田耕（基）  
平岡（生）、大澤（生）、藤田（生）、八木健（生）、柳田（生）、近藤（生）  
松岡（サイバー）

【事務局】 徳野（情/部門事務局長）

【出席（オブザーバ、敬称略）】

小倉（情）、首藤（情）、安永（情）

## 配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。（パスワード：HWInnovation）

## 議題

### (1) 教務委員会（資料あり）

- 前回委員会にて公聴会後に修了資格を確認した 15 名の履修生について、コースワークの全修了資格を満たしているか判定を行った。  
⇒ 15 名全員のコースワーク修了(合格)について異議なく承認された。
- 各カリキュラムについての次年度の実施方針、及び来年度から開始する高度副プログラムの概要の説明があった。
- 3 年次のカリキュラムにあるプロジェクト研究における融合研究の実施と成果物の条件について、これまでは他研究科にまたがる学生や教員と実施するものと定義していたが、今後は参画企業の研究者でも可としたいこと、また成果物として特許(出願等)も認めることとしたい旨の発言があった。  
⇒ 教務委員会において最終の審議中であり、意見があれば細田教務委員長に連絡すること、また教務委員会において最終の判断を行い、本委員会に報告することとした。
- 履修生が主体的に取り組んでいるクラウドファンディングが順調に進み、目標額

を達成した旨の報告があった。

- 北米センター・北米同窓会の協力により、現在北米へ履修生 2 名を派遣(2/25～3/6)している旨の報告があった。

(2) リーディング大学院選抜委員会 (資料なし)

- 2月27日まで第7期生の応募を受け付け、最終的に15名の出願があった。書類選考は3/1、選抜試験(面接審査)は3/12を予定。

(3) 海外連携委員会 (資料あり)

- 今年度のインターンシップ状況について、特に問題なく進んでいる旨の報告があった。
- 海外インターンシップの学生派遣時の問題の発生を想定して、来年度の緊急対策チーム案を策定した旨報告があった。参画教員にて、それぞれ担当を割り当て、緊急時に備えることとした。

(4) 産学官連携委員会 (海連との共通資料あり)

- 報告事項等なし

(5) 広報企画委員会 (資料なし)

- 報告事項等なし

(6) その他

① 新年度からの運営について (清水教授)

来年度からの定着に向けた運営について具体的な実施案が説明された。

◇ 教育面においては、プログラム科目を情報科学研究科正規科目とすること、及び全学を対象とした高度副プログラムとして展開・定着させていく。

◇ 運営面においては、体制を再編して、教務委員会のもと業務を担当毎に分類する。

詳細については、3月18日開催の新担当者の集まりで説明、調整の予定。

◇ 来年度の特任教員(助教)として、本年3月のプログラム修了生である岩崎悟氏(情報)を採用予定。